自立し、互いに関わり合いながら、よりよい社会づくりに参画し行動する「有徳の人」の育成を目指して

Eジャーナルしずおか

静岡県教育委員会
教育広報紙

平成25年（2013年）4月5日 金曜日 第110号

発行・編集 教育政策課　〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号　TEL 054-221-3168　FAX 054-221-3561　E-mail kyoui_seisaku@pref.shizuoka.lg.jp

平成25年度静岡県教育委員会 教育行政の基本方針と教育予算

静岡県教育委員会は、個人として自立し、人との関わり合いを大切にしながら、よりよい社会づくりに参画し行動する『有徳の人』の育成」を基本目標とした、静岡県教育振興基本計画『有徳の人』づくりアクションプラン」に基づき、ライフステージに応じ、家庭・学校・地域等、社会総がかりでの施策展開に努めています。

本年度は、計画の進捗状況を踏まえ、生涯学習社会の実現に向け、関係諸機関との連携を図りながら、次の方針により施策を実施します。

方針1 「有徳の人」の育成に向け、教育への今日的な要請に対応した、実効性の高い教育行政を推進します。

（1）安全・安心な教育環境づくりを推進し、「命を守る教育」の充実に努めます。

（2）学校マネジメントの一層の向上に努めるとともに、使命感や倫理観の涵養など、頼もしい教職員の育成を目指し、信頼される学校づくりを推進します。

（3）自他の人権を大切にする態度や行動力を育む人権教育を推進するとともに、特別支援教育や異文化理解・交流等の充実に努めます。

主な取組

- 県立学校における教育環境の整備
- 緊急地震速報受信システムのモデル的整備
- 学校の防災計画書の充実
- 学校運営の改善に向けた取組の推進
- 学校情報化の推進
- メンタルヘルス対策
- 教職員の使命感や倫理観の涵養に向けた取組の推進
- 人権教育の総合的な推進
- 発達障害等のある生徒への支援の実施
- 外国人児童生徒トータルサポート

方針2 多様な体験活動の充実、家庭や地域等との連携により、「有徳の人」を育む学校教育を推進します。

（1）自然体験活動や社会貢献活動等、幼児児童生徒の多様な体験活動を推進するとともに、道徳教育の充実を図り、「徳のある人間性」を育みます。

（2）心と体の健康教育を推進するとともに、文化活動、体育・スポーツ活動の充実を図り、「健やかで、たくましい心身」を育みます。

（3）魅力ある授業づくりやきめ細かな指導・支援の充実に努め、「確かな学力」を育成します。

（4）地域やNPO、企業等と連携し、発達段階に応じた勤労観・職業観などを育むキャリア教育の推進や就職支援に努めます。

（5）コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）の導入など、学校や地域の実情、ニーズに対応した取組を支援し、地域に開かれた特色ある学校づくりを推進します。

主な取組

- 「大地に学ぶ」農業体験の推進
- モンゴル国ドルノゴビ県高校生との相互交流
- スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの活用
- 不登校・いじめ・非行等の問題行動に対する未然防止と支援体制の構築
- 食育啓発リーフレットの活用
- しずおか型部活動の推進
- 中堅教員の資質向上のための研修等の実施
- オーバードクター等の活用
- 小学校理科専科教員に向けた研修の実施
- 県立高等学校への産業教育設備の整備
- 静岡式35人学級編制の拡充
- 就職指導・支援に向けた環境整備
- 小・中学校統合時における学校運営支援
- 学校運営協議会制度の導入に向けた取組への支援

方針3 「有徳の人」を育む、県民の多様なニーズに応じた生涯学習の環境づくりを推進します。

（1）地域や関係諸機関との連携のもと、家庭教育支援の充実を図るとともに、地域の子どもを地域で育む体制づくりに努めます。

（2）「ふじのくに子ども・若者プラン」に基づき、青少年の健全育成に向けた環境づくりを推進するとともに、青少年リーダーの育成やその活動支援に努めます。

（3）「読書県しずおか」づくりの推進など、県民一人一人が生涯にわたって学び続ける気運の醸成や学習環境の整備に努めます。

（4）歴史的・文化的資産である文化財を保護・活用し、文化財に対する県民の関心を高めるとともに、その価値の未来への継承に努めます。

（5）「ふじのくに生涯スポーツ社会」の実現を目指し、ライフステージに応じて誰もがスポーツに親しむことができる環境づくりと競技力の向上に努めます。

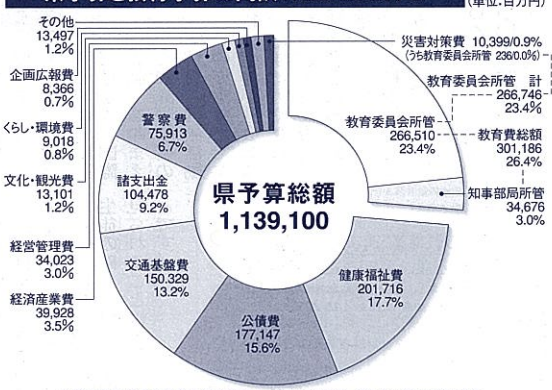
主な取組

- 地域における通学合宿の推進
- みんなで支える家庭教育支援
- 困難を有する子ども・若者の支援体制の整備
- 学びの「宝箱」の活用
- 子どもと大人の読書活動の推進
- 文化財の調査
- 文化財クローズアップの実施
- 静岡県文化財建造物監理士養成講習会の実施
- 生涯スポーツの振興
- 青少年のスポーツ交流の推進
- 競技力向上対策の推進

【教育政策課】

県予算と教育予算の内訳（平成25年度当初予算）

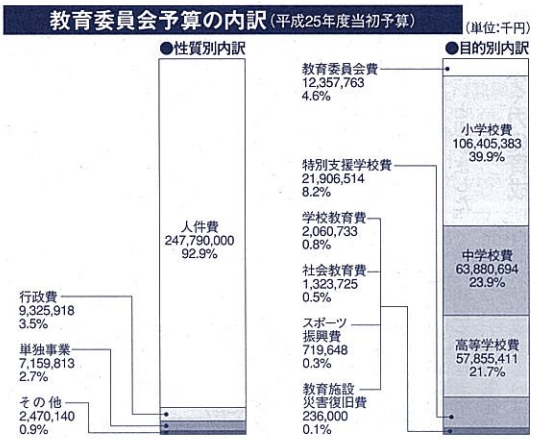
（単位：百万円）



※表示単位未満の端数処理の関係上、合計と内訳が一致しない場合があります。

教育委員会予算の内訳（平成25年度当初予算）

（単位：千円）



平成25年度　教職員研修の主な変更点

若手教職員の育成に重点を置いた研修の充実、今日的な課題等に対応するため、教職員研修の改善を行います。主な変更点は次のとおりです。

○初任者研修

- 警察本部と連携し、「いじめ・体罰に関する講義」を実施。（小・中・高・特）新

○2年次研修

- 1年間の教職経験を踏まえた個別の課題研究や体験活動の実施新（特別支援学校は平成24年度から実施）（個別の課題研究の実施（高）、市町教育委員会主催による異校種体験の実施（小・中））

○10年経験者研修

- 「キャリア教育」「教育相談」の内容に、新たに「生徒指導」の内容を加えた講義・演習「人づくり」を設定。新
- リーダーとしての役割やマネジメントの資質向上のため、民間企業経営者からの講演を設定。新

○いじめに対応した研修

- 小・中の生徒指導担当（悉皆）
- 小・中・高・特・私の生徒指導担当（推薦）
- 小・中・高・特の養護教員（悉皆）
- 小・中・高・特・私の教員（希望）新

○理科教育に関する研修

- 理科指導に関する理解を深め、専門的・実践的な指導力向上のための理科専科教員の研修を実施。新
- 「理科の観察・実験指導等に関する研究協議会」を設置し、小中学校の理科教育の接続改善を図るとともに理科の観察・実験し動力の向上を図る。新

○幼稚園教員対象の実践講座

- 幼児教育の実践的指導力の向上のための公開講座を実施。新

【教育政策課】

県教育委員会HPでは、安倍教育長が語る「教育長室」や「『有徳の人』づくり」など教育に関する様々な情報を掲載しています。是非御覧ください。

実践NOTE 19

一つ増やしていこう「できそうなこと」からスタートだ！

伊豆市立土肥小学校　教諭　酒井 さかえ

子どもの「今」に寄り添い、成長を共に喜び合える―そんな特別支援学級担任ならではの「幸福感」を味わっています。

一歩ずつ、できることを増やそう

掲示物の工夫で

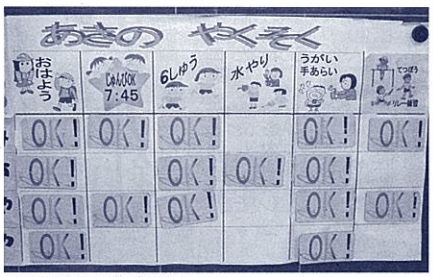
子どもたちは、五感を使って様々な情報を得ています。とりわけ視覚からの情報には敏感で受け止めやすいようです。そこで、教室内の掲示物には、次の三つのことを心掛けています。

＊生活の支援

登校しランドセルを降ろした子どもたちは、おしゃべりや遊びに夢中です。しかし、もうすぐ朝運動の時間になることに気付くと、視線は「朝の日課表」へと移ります。文字や絵で、やるべきことや目当てが示されています。これを見ながら、荷物を整理し、体操服に着替え…、全てやり終えると、元気いっぱい運動場に向かいます。

＊学習の定着

授業中、文章問題に戸惑ったときには、示された「＋・－・×・÷」のキーワード」を頼りに自分の力で立式しようとします。発表するときには、「…だと思います。なぜならば、～からです」と話型の基本に沿いながら自分の考えを伝えようとします。



学習・生活の道しるべに（掲示物）

＊好奇心の喚起

地図を見て都道府県名や地図記号への関心を高めたり、漢字の組合せクイズから部首を覚えたりと、目にしたものを起点に、好奇心を膨らめています。

このように、掲示物は、学習・生活の道しるべとなっています。子どもの実態を見つめ、成長の願いを込めた掲示物によって、「できること」を、着実に増やしています。

ちょっとの工夫で

子どもたちは、「できるようになりたい」と思っています。しかし、手先が思うように動かなかったり、リズムに乗ることが苦手だったりするために、いろいろな場面で、難しさを感じているようです。

＊意欲向上

けん玉では、「おもしろそう」と意気揚々と取り掛かったものの、何回やってもうまくいかないので、すっかりやる気をなくしてしまいました。皿に載ったときの快感を味わわせたいと、まずは、皿の部分にカップを取り付けました。ねらいが定めやすくお皿よりも広口なので簡単に入ります。成功体験はやる気を湧かせ、玉の上げ方とカップに入るタイミングをつかむことができました。

成功体験を積ませる（けん玉）

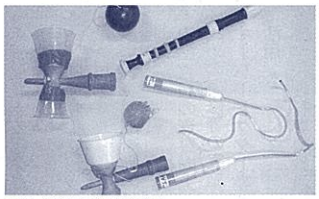
＊難易度軽減

縄跳びでは、グリップから30～50㎝位の長さで縄を切った「透明縄跳び」を使って練習しました。縄に引っかかることを気にせずに、連続ジャンプのリズムをつかむことができました。

＊困り感追放

リコーダー練習では、穴と穴の間を毛糸（輪ゴム）で巻いて仕切ることで、指の位置感覚をつかむことができました。

リズムをつかんだ後は普通の縄跳びに挑戦


工夫した道具で成長をサポート

できたときの喜びの笑顔、得意気に何度も挑戦する姿は、きらきら輝いています。これからも、「できそうなこと」からスタートして、ちょっとずつステップアップしながら、「できること」を増やしていきます。

実践NOTE 20

グローバル化に対応する技術者の育成

～工業科の授業実践～

教育政策課　指導主事　増田 陽一

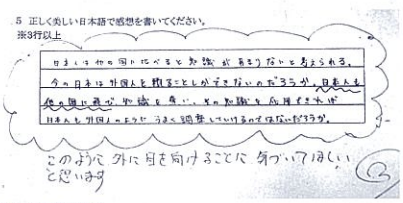
前任の県立御殿場高等学校での実践を紹介します。

高等学校工業科の新学習指導要領でクローズアップされていることは、「国際競争」「国際貢献」を踏まえた知識や技術の習得、言語活動の充実などです。

工業科の生徒が社会の変化に対応する力やグローバルな視点・考え方を備えた技術者となるための礎を築く手立ての一つとして、工業科の授業実践を試みました。

正しく美しい日本語で！

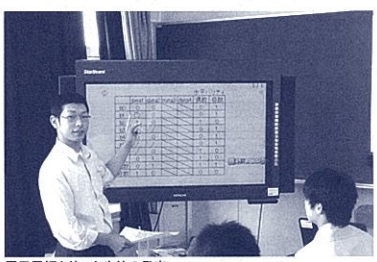
国際化等で海外に目を向ける前に、まずは日本語を意識的に正しく使い、美しく表現させることが必要です。そのために、次のような実践に取り組みました。「国際化」と結び付いた授業内容を深めるタイムリーな新聞記事を読ませ、国際社会と工業事象の関わりを意識付けるとともに、感想として自分の思考、表現等を正しく美しい日本語で1枚のプリントにまとめさせました。生徒の感想には「ある程度英語を話せる必要がある」（語学の必要性）「日本人はもっと外国に足を運ぶべきでは」（視野の広がり）「日本人だけがお客さんではない」（ニーズの把握）「中国やインドを意識して国家戦略が必要」（国際競争）など、国際化への意識が現れてきました。日々の積み重ねにより、正しく美しい日本語を意識的に使い始めた生徒の確かな成長を垣間見られることは嬉しいことです。


5 正しく美しい日本語で感想を書いてください。
※3行以上
日本という物の国にくらべると動物が高きりないと考えられる。
今の日本は外国人と親ることしかできないのだろうか。日本人も
色々に考えかの国を見い、その知識を広げてみれば
日本人も外国人のように、うまく過ごせていけるのではないだろうか。
このように外に目を向けることに気づいてほしいと思います。
キャリア教育の実践

電子黒板の活用

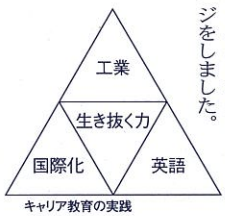
私の授業では、生徒の言語活動を充実させるため電子黒板を活用しました。電子黒板は授業改善の切り札とも言える革新的なICT機器であり、授業の中で10分程度使用することで生徒の目の輝きが違ってきます。生徒の活動が中心となるこの10分の使用について綿密に授業計画を立てることが肝要です。

また、生徒が電子黒板を使う際は、自分の思考を整理し相手に分かるように正しい日本語で発表させることに力点を置きました。国際社会で生き抜くために、自分の意見や思考を論理的に正しく美しい日本語で説明できる能力を身に付け、何よりも自信と自己肯定感を持たせたいと思いました。


電子黒板を使った生徒の発表

生き抜く力の育成

急速に変化する社会を生き抜くグローバルな視点や考え方を備えた技術者育成には、英語力が必須だと考えます。そのために、工業科の授業の中で英語に慣れ親しみ、「工業」「英語」「国際化」をつなげる次のような実践に取り組みました。専門用語の英単語を単に覚えるのではなく、納得して覚えることで知識が定着し、理解が深まります。具体的には、キャリア教育の視点に立ち、工業科の内容、英語並びに国際化が日々の生活と深く関わることを実感させながら、図のトライアングルのように三者がつながり、臨場感あふれる授業にチャレンジをしました。



キャリア教育の実践

例えば、通信技術におけるExchange（交換機）やTransit（中継）という専門用語は、海外修学旅行で空港を利用する際に必ず目にします。英単語は板書しプリントにまとめさせ、必ず声に出して発声練習をさせます。

発声については、生徒の自信や存在感あるいは集団への所属感の高揚につなげてほしいという願いを抱きながら妥協しない厳しさで指導しました。

国際化やグローバル化は手の届かない難しいことだと考えられがちですが、仲間の意見を認め、そして受け入れることなど、日々の学校生活の中にその第一歩があると感じます。

センター研修が学校の教育活動を応援します

～平成25年度の希望研修～

「磨こう　授業づくり
支えよう　人づくり
目指そう　新たな自分づくり」

総合教育センターでは、この言葉をキャッチフレーズに、「授業づくり」から「人づくり」まで、学校や教職員のニーズに応える研修を進めています。

磨こう 授業づくり

授業力向上は教員にとっての共通のテーマです。新学習指導要領の全面実施が進み、これまで、趣旨や内容の説明が主であった研修から、より実践的な内容の研修へと充実が図られています。

研修例1
「社会科授業づくり基礎研修―授業改善のポイント―」

授業構想上の留意点、指導技術、効果的な資料活用の講義とともに、「授業づくり指針」を活用した指導案の改善を行うことができます。

支えよう 人づくり

いじめや不登校は喫緊の課題であり、教職員の基本姿勢の確立や的確な関わり方等が求められます。

研修例2
「子ども理解と対応研修―いじめや不登校で苦しむ子どもの声を聴くということ―」

「自己肯定感」をキーワードに、いじめや不登校などで苦しむ子どもたちが本当に求めているものは何か、実際に必要な支援とは何かを学ぶことができます。

目指そう 新たな自分づくり

教職員個々のレベルアップは、日々の授業や教育活動をより良いものにし、やがては、子どもたちへと還元されていきます。新年度を迎え、新たな知識やスキルの習得に挑戦してみませんか。

研修例3
「ICT活用研修ミニコースⅠⅡⅢⅣ」

ICT活用について、電子黒板やタブレット型情報端末など、ニーズの高い内容や、最新の機器操作を学びます。半日開催、東部会場の実施も計画しています。

目指そう 新たな自分づくり

個々の課題解決や目標達成のため、学校の教育活動全体の向上のため、努力する教職員の皆さんをセンター研修が応援します。

【総合教育センター　総務企画課企画班】

静岡県の子どもたちはどうだったの？

全国学力・学習状況調査
教師用リーフレットができました！

静岡県が求める学力とは

平成24年度の全国学力・学習状況調査結果（抽出調査）をみると、静岡県の子どもたちは、早寝早起きをし、学校での出来事をよく家族と会話して、朝食の摂取率も良いことが分かります。

また、将来は、他人の役に立つ人間になりたいと思う子どもの割合が多く、他人の気持ちの分かる人間になりたいと思う気持ちも人一倍強いのです。

個人として自立し、人との関わり合いを大切にし、よりよい社会づくりに参画する「有徳の人」こそ、静岡県が求める姿です。

静岡県「学力検証プロジェクト事業」

しかし、都道府県別平均正答率等の結果から、静岡県の小学生の平均正答率は低下傾向にあり、中学生は安定しているということが読み取れました。

実際はどうなのかということを分析するために、有識者を含めた委員による「学力検証プロジェクト事業」を立ち上げ、3回にわたる検証委員会を行いました。

①静岡の小学生は、全国の平均点を下回っているものの、中学生では上位にあり、義務教育9年では、学力が大きく向上する傾向にある。

②国語、算数、理科で根拠に基づいて自分の考えを表現する（書く）力が低下している傾向が見られる。

やる気を引き出す教育

昨年11月に配布した保護者用リーフレットは、学力の特徴をつかみ、家庭でやる気を引き出すことの重要性を知らせるものでした。

3月に配布した教師用は、子どものやる気を伸ばす授業改善の必要性を示しています。

「習得と活用をバランスよく」とは具体的にどのような授業なのか、「書く活動」はどの場面で取り入れると有効なのか、など、ぜひ校内研修に生かしていただきたいと思います。

【学校教育課】

シリーズ発達障害 vol.4 発達障害を持つ子の就学と進路

4回シリーズでお送りした発達障害についての記事。最終回は、当センターへの相談の中から、就学と進路について、紹介します。

就学先の選択と進路

この春、中学校に入学する知的障害のない広汎性発達障害を持つAさんは、6年生の時に、中学校の自閉症・情緒障害特別支援学級の体験入学をしました。小学校では、先生の支援を受けつつ通常学級に在籍していましたが、感覚の過敏さや、独特な物事の理解の仕方などの特性があり、人数が多く刺激過多になる通常学級では、適応のしにくさを感じていたためでした。体験入学の末、Aさんと保護者は、「勉強がしやすい」「本人に合っている」という理由で、特別支援学級を希望したそうです。

一方、知的障害のない発達障害を持つ子は、特別支援学校高等部の対象外のため、中学校卒業後の進路を心配した先生方は、通常学級への入学を勧めました。保護者は悩んだ末に本人を説得し、通常学級に進学させることに決めたそうです。

その子に合った学びと場を

Aさんにとって学びやすい教え方や、学校生活を楽しみやすい環境は、特別支援学級であろうと思います。しかし、Aさんが住んでいる地域では、「知的障害のない生徒が、高校進学を目指すならば、通常学級に在籍している」ことが必須」とされているようでした。

自閉症・情緒障害特別支援学級からでも高校進学は可能なのですが、現実にはその誤解がなかなか解けないようです。学校基本調査によると、特別支援学級の卒業者の高等学校等進学率は、高い県では50～60％ですが、静岡県では10％以下という結果でした。

発達障害を持つ子どもたちには様々な状態の子がいて、様々な教育の場（通常学級、通級指導教室、適応指導教室、特別支援学級、特別支援学校）で学んでいます。

多様な場で、多様な学び方をする発達障害を持つお子さんの学校生活や進路選択が、より良いものになるように、当センターも応援したいと思います。

【静岡県発達障害者支援センター】

福利課info　教えて 乳がんの基礎知識

近年発症率及び死亡率ともに増加傾向にあるがんの一つに、乳がんがあります。日本人女性の16人に1人が生涯の内に乳がんにかかる危険があり、女性がかかるがんの中で一番多くなっています。30歳代から増加し始め、特に40歳～50歳代での発症や死亡がピークとなっています。（図1、2参照）男性も発症しますがその頻度は女性の100分の1程度です。

図1　女性の部位別がん罹患率

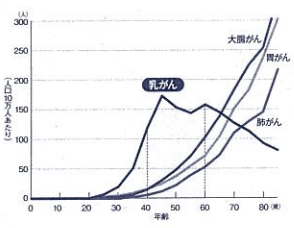
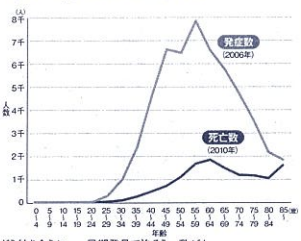


図2　乳がん年代別発症数、死亡数



発行：公益法人がん研究振興財団　パンフレット～がんとどう付き合うか～　早期発見で治そう　乳がん

乳がんの症状

乳がんは乳房の中にある乳腺（母乳を作るところ）にできる悪性腫瘍で、乳がんの半数近くが乳房の上外側に出来ると言われています。乳房のしこりやくぼみ、乳頭からの出血で見付かることもあります。

早期発見がかぎ

乳がんは、早期に発見し治療すれば治る可能性の高い病気です。早期であれば90％以上が治ると言われています。月に一度セルフチェックをし、また、40歳を過ぎたら2年に1度は乳がん検診を受けておくと安心とも言われています。出来るだけ初期の段階で発見し、適切な治療を行うために、検診はもちろんのこと、再検査や精密検査は必ず受けましょう。

乳がんについての詳細等は日本対がん協会、がん対策情報センターのホームページに掲載されています。また、気になること、不安なこと等ありましたら下記相談窓口へ御相談ください。

○電話相談窓口（24時間対応）（教職員対象）
・教職員健康相談24　0120（24）8349
○電話・面談相談窓口（教職員対象）
・専門医によるセカンドオピニオン　0120（214）249
○日本対がん協会　がん相談ホットライン03（3562）7830

【福利課】

不要になった書籍などで社会貢献を

県では、不要になった書籍、CDなどを寄付していただき、その売却代金をNPOが行う県内の社会貢献活動に役立てる取組（ぽぽんプロジェクト）を行っています。御協力お願いします。

1　引取対象品目
書籍（ISBN（書籍を特定するための番号）のない本、百科事典、コンビニコミックス、マンガ雑誌、一般雑誌等は対象外）、音楽CD、DVDなど。

2　申込み方法
申込書と不要になった書籍等をダンボール等に詰めます。

3　古本の集荷、査定等を行う(株)バリューブックスに電話（0120－826－295）。

4　宅配業者が集荷（5冊以上で着払い可）。

5　買い取り相当額が、バリューブックスから「ふじのくにNPO活動基金」に寄附されます。

＊申込書はふじのくにNPO活動センター等で配布。「ぽぽん・プロジェクト」のホームページからもダウンロード可。

問　ふじのくにNPO活動センター
TEL 054（260）7601
HP http://www.bobon.jp/

あすなろAngle

頼もしい養護教諭を目指して

―新規採用養護教員研修―

養護教諭は、大半が一人職であるため、研修会は専門的なことを学んだり他校の様子を知ったりする貴重な機会です。新規採用養護教員研修は、幅広い職務に対応できるよう、

・保健室経営に関する講義、演習

・健康相談の講義、実習

・救急法の講義、実習

等の内容で実施しています。今回はその中から、保健室経営に関する演習について紹介します。

演習「保健室経営計画の提案」

この演習は、模擬職員会議での提案という設定を通して、各自があらかじめ作成してきた保健室経営計画をより良くするように協議するものです。校長役、保健主事役、養護教諭役など役割分担し、養護教諭以外の職員の視点を意識できるようにしました。

演習を通して視野が広がりました

その演習の中で、「保健指導の充実とはどういうことですか？」という質問が出され、養護教諭役の提案者がはっとする場面がありました。それは、「充実」という言葉で表現しただけで、計画の中に何をどうするのか具体的に示されていなかったことに気付いたからです。このことから全職員に理解してもらえるような計画を立てることの難しさを感じましたが、同時に、違った立場から見つめることで計画立案のポイントが見えてきました。

「多くの人に見てもらうことで、補わなければいけないところがよく分かった」「どの先生にも1年の保健室経営についての見通しを持ってもらえるよう計画を見直したい」など、とても意欲的な感想が聞かれました。また、具体的な演習を行うことで、学校という組織の一員としての自覚を持ち、様々な視点から保健室経営を考えるようになってきたことがうかがえました。

今後に向けての期待

初任者研修は1年で終わりですが、養護教諭としての仕事は始まったばかりです。「未熟な自分を高めていけるよう学び続けたい」「様々な人の立場に立って物事を考え、学校で唯一無二の存在になっていきたい」そんな頼もしい感想が聞かれました。今後の活躍が楽しみです。

【生徒指導支援班】

「富士山世界文化遺産出前講座」受付中

～総合学習や職員研修などで活用ください～

本年6月、富士山の世界文化遺産登録が、ユネスコの世界遺産委員会で審議されます。県世界遺産推進課では、世界遺産登録に向けて関心と理解を深めていただくため、平成18年度から「富士山世界文化遺産出前講座」を実施しています。平成24年度は、延べ50回開催し、約5,000人の方が受講しました。

県内の小・中・高等学校、生涯学習施設、各種団体等に当課職員が出向き、世界遺産の基礎知識、富士山の自然や文化的価値、富士山の世界文化遺産登録に向けた取組などを分かりやすく説明します。

出前講座を受講する一般の方々

受付　随時受付（無料）

問・申　県世界遺産推進課

TEL054（221）3747　FAX054（221）2827

Eメール　sekai@pref.shizuoka.lg.jp

高等学校卒業程度認定試験（通称「高卒認定試験」）とは？

この試験は、「高等学校を卒業した人と同等以上の学力があるかどうか」を「文部科学省が認定する試験」です。平成16年度まで大学入学資格検定（大検）として実施され、平成17年度から、名称が変わり、受験科目の変更等の一部改定がありました。高等学校を卒業していない人の進学や就職などの夢や目標の実現として「高卒認定試験」を受験するという選択肢があります。

合格すると…

①大学・短大・専門学校の受験資格が得られる。

②就職や資格試験の受験にも活用できる。

③校長の判断で、高校の単位として認定することもできる。

受験資格・試験科目・合格要件・「受験案内・願書」の入手方法などは、文部科学省のHPで確認できます。

http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/shiken/index.htm

平成25年度　高卒認定試験スケジュール

〈第1回〉受験案内・願書配布開始日4/8（月）

願書受付4/26（金）～5/15（水）

試験日8/1（木）・8/2（金）

合格発表　8/28（水）結果通知発送予定

〈第2回〉受験案内・願書配布開始日7/22（月）

願書受付9/2（月）～9/17（火）

試験日11/9（土）・11/10（日）

合格発表12/6（金）結果通知発送予定

【社会教育課】

平成26年度開校の新構想高等学校の校名を決定！

県立大井川高等学校と県立吉田高等学校を再編して開校する志榛地区新構想高等学校並びに県立二俣高等学校、県立天竜林業高等学校及び県立春野高等学校を再編して開校する天竜地区新構想高等学校の校名が決定しました。両校は平成26年4月に開校します。親しみやすい校名案を数多く応募いただきありがとうございました。

〈志榛地区新構想高等学校〉

・校名　**静岡県立清流館（せいりゅうかん）高等学校**

・課程／学科　全日制／普通科、福祉科

〈天竜地区新構想高等学校〉

・校名　**静岡県立天竜（てんりゅう）高等学校**

・課程／学科　全日制／総合学科、農業科（林業科）、普通科

【学校教育課高校再編整備室】

協力貸出しのススメ

静岡県の図書館に関する○×クイズです。

第1問　市町立図書館で県立図書館の本を借りるには、県立図書館のカードが必要である。

第2問　県立図書館には市町立図書館にはない本もある。

第3問　市町立図書館に頼んで県立図書館の本を取り寄せるには、1冊につき10円掛かる。

（正解）第1問×、第2問○、第3問×です。

市町立図書館カードでOK

市町立図書館の窓口を通じて県立図書館の本を借りる仕組みを「協力貸出し」と言います。協力貸出しは市町立図書館の窓口で申し込むため、県立図書館のカードがなくても、市町立図書館のカードがあれば借りられます。なお、貸出期間や冊数の上限は市町によって異なりますので、各図書館でお尋ねください。

調査・研究図書が充実

市町立図書館には、新進気鋭の作家の小説などが数多く所蔵されていますが、県立図書館は、調査・研究用の本を中心に約74万冊を所蔵しています。市町立図書館にはない、専門性が高い本や、高額な本が多くあります。

無料です

市町立図書館を利用して県立図書館の本を取り寄せても、利用者の負担はありません。県立図書館の使命の一つに市町立図書館のサポートがあり、市町立図書館が所蔵していない本を県立図書館が利用者に提供します。また、蔵書が少ない図書館にも、県立図書館の本をお届けします。

なお、本の到着までには、配送の日程などの関係で、長くて2週間ほど掛かる場合もあります。お急ぎの場合は御注意ください。

西へ東へ―協力車

県立図書館と市町立図書館の本のやり取りは、宅配が主ですが、職員が運営相談のために各市町を巡回する「協力車」でも運んでいます。職員同士が顔を合わせて情報交換をすると同時に、本も手渡されていくのです。静岡県の公立図書館はそうしたネットワークでつながっています。

県立図書館の蔵書が県内どこでも利用できる「協力貸出し」。まだ利用したことのない方も是非一度使ってみてください。

今日も協力車は西へ、東へ、あなたの町へ。

【中央図書館企画振興課】

"E"DITOR

「おはようございます。おはようございます」駅では駅員さんがひっきりなしに過ぎていく乗客に挨拶をしていました。職場の警備員さんも「おはようございます」と、繰り返していました。1日の始まりに挨拶はとても気持ちがいいものです。相手が挨拶をしてくれることに感謝し、こちらも元気よく返したいと思います。

新年度が始まりました。学校では最上級生の卒業、新入生の入学、職場では自分や同僚の異動など、それぞれ新しい環境でスタートです。誰しも、環境の変化は不安なものです。そんなときこそ、元気よく挨拶、あなたの挨拶一つが周りに元気を与えているかもしれません。新しい季節、頑張って行きましょう。（主）

広告

文化祭・体育祭など各イベントでご利用ください。

卒業記念品もご提供致します。

みなさんのデザインで、オリジナルグッズを作ってみませんか？

goods オリジナルショップ グッズ

〈見積り無料〉お気軽にご相談下さい。

Tel.054-285-6502

〒422-8066 静岡市駿河区泉町5-33.1F

Fax.054-286-3041

Eジャーナルしずおかは48,000部発行　市町教委等の御協力により、静岡県の全ての公立学校等教職員一人一人に配布されています。　図書館や公民館にも配架され、一般の方も御覧いただけます。